

ウミガラスの概要

1. 分類

- ・チドリ目ウミスズメ科 ウミガラス
(学名 *Uria aalge inornata*)
- ・絶滅危惧 I A類 (環境省レッドリスト2020)



2. 形態的特徴及び生物学的特性

- ・成熟個体で全長44cm
- ・島の断崖で集団繁殖。繁殖活動は5～8月
- ・潜水して主に魚類を捕食

3. 分布状況

- ・日本では天売島(北海道)だけで繁殖する。
- ・1960年代には8,000羽と推定されたが、急激に減少。

4. 現在の生息個体数

- ・令和7年度の天売島への飛来数は135羽であり、過去25年で最多となった。
- ・2023年と2024年に減少していたつがい数も37つがい(昨年比+14)と回復した。
- ・世界の総個体数は千数百万羽と言われている。

5. 生息を脅かす要因

- ・天売島内のかつての営巣地の物理的環境に大きな変化はない。
- ・漁網による混獲、餌資源の減少、ハシブトガラス等による卵やヒナの捕食等が主要な減少要因となっていると思われる。

6. 保護増殖事業の概要及びその効果

- ・国内希少野生動植物種指定(平成5年指定)保護増殖事業計画(環境省)の策定(平成13年)
- ・天売島の繁殖地でデコイや音声装置を置いて繁殖個体の誘引、捕食者となるハシブトガラス等の捕獲、繁殖地内の監視カメラを用いたモニタリング等を実施

7. 他法令による保護の状況

- ・天然記念物「天売島海鳥繁殖地」(昭和13年)
- ・天売島全域に国指定天売島鳥獣保護区の指定(昭和57年)
- ・暑寒別天売焼尻国立公園(平成2年)